

平成19年度

荒川区予算案の概要

(平成18年度最終補正予算案の概要を含みます)

平成19年2月

荒 川 区

目 次

平成19年度予算

1	編成方針	1
2	予算規模	2
3	歳入	3
4	歳出	5
5	基金残高と区債残高の推移	7
6	財政収支見通し	8
7	19年度予算の主要な事業	10

平成18年度最終補正予算

8	最終補正予算案の概要	26
---	------------------	----

1 編成方針

平成19年度予算は、

『「幸福実感都市 あらかわ」の実現に向けて
積極的に取り組む予算』

と位置付け、以下の3点に重点を置いて編成しました。

- 1 「幸福実感都市 あらかわ」に込めた6つの都市像（生涯健康都市、子育て教育都市、産業革新都市、環境先進都市、文化創造都市、安全安心都市）の実現に向け、限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること
- 2 「あらかわ刷新プラン」に基づいた行政改革を推進するとともに、すべての事務事業を対象に実施した行政評価の結果を踏まえた事業の見直しやより効率的な執行方法への改善を図ること
- 3 新たな行政需要の増加に適切に対応するため、歳入確保に最大限の努力を払うとともに、将来の財政負担等を十分見極めた上で基金や起債を財源として有効に活用するなど、中長期的な視点に立った財政運営を行うこと

2 予算規模

平成19年度の一般会計予算の規模は828億円で、前年度に比べ20億円、2.4%の減となりましたが、前年度に行った基金の統廃合による歳入・歳出増分を除くと、実質的には前年度に比べ22億円、2.7%の増となっています。

新たな区民ニーズに応えるべく、限られた財源を生涯健康都市づくりや福祉の充実、子育てや教育環境の整備、産業振興、地球温暖化防止等の環境対策、防災・防犯など、区政の重要課題に重点的・効果的に配分した予算としました。

なお、特別会計3会計を合わせた全会計での予算規模は1,344億円となっています。

(単位：百万円)

区 分	19年度	18年度	増()減	増()減率
一 般 会 計	82,820	84,830	2,010	2.4%
うち基金の統廃合分(a)	0	4,218	4,218	皆減
(a)を除く 実質的な予算額	82,820	80,612	2,208	2.7%
国民健康保険事業特別会計	24,192	22,839	1,353	5.9%
老人保健医療特別会計	15,633	16,407	774	4.7%
介護保険事業特別会計	11,742	10,981	761	6.9%
計	134,387	135,057	670	0.5%

【参考】荒川区・東京都・国の財政規模の推移（一般会計当初予算）

(単位：億円、%)

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
荒 川 区	736	724	795	753	848	828
伸び率	12.6	1.7	9.9	5.3	12.7	2.4
東 京 都	59,078	57,295	57,080	58,540	61,720	66,020
伸び率	4.8	3.0	0.4	2.6	5.4	7.0
国	812,300	817,891	821,109	821,829	796,860	829,088
伸び率	1.7	0.7	0.4	0.1	3.0	4.0

3 歳 入

平成19年度予算では、職員定数の削減をはじめとした行政改革の推進などにより、17年度予算以降、3年連続で、特別な財源対策（財政調整基金及び特別区債管理基金の取り崩し）を行わずに収支の均衡を図りました。

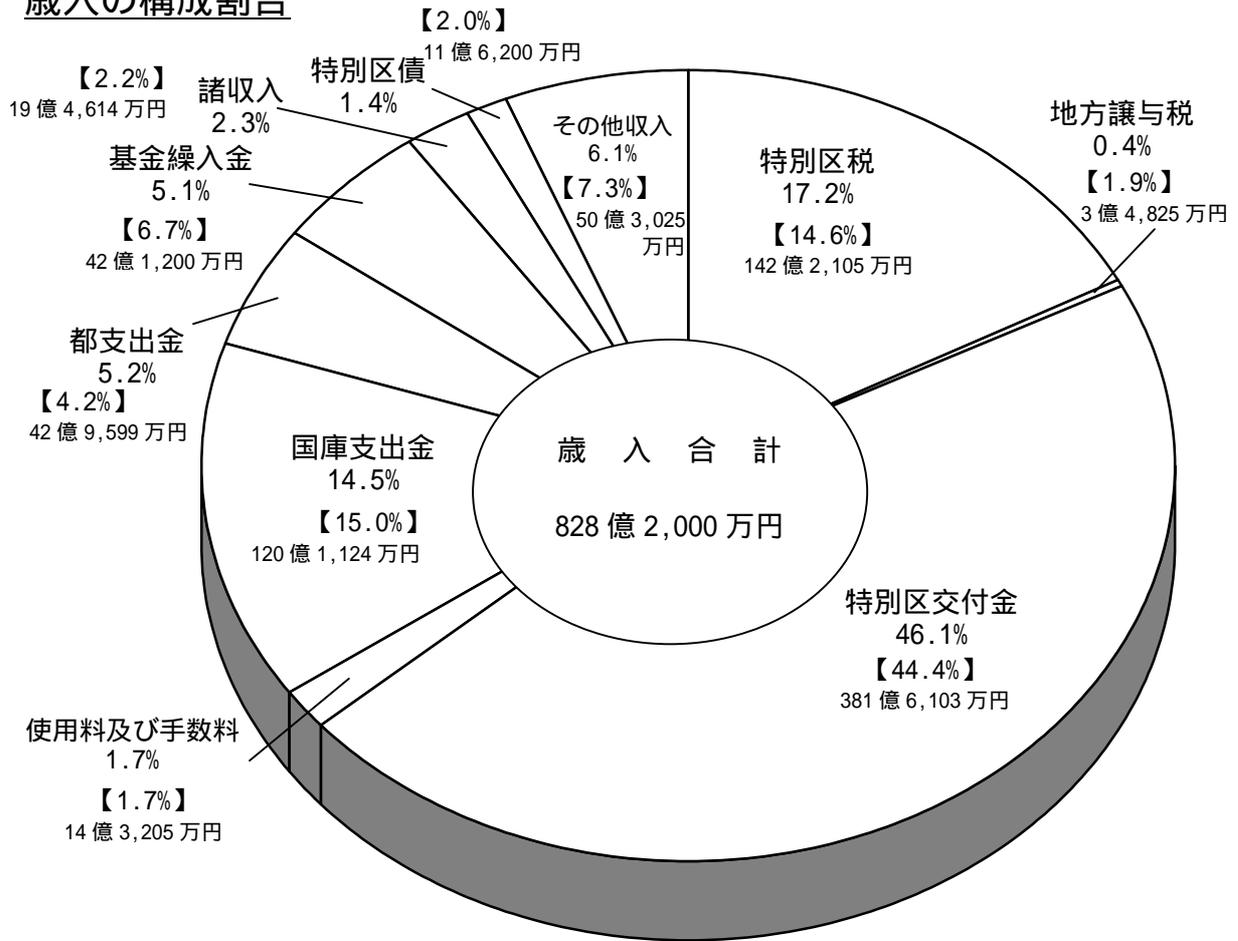
歳入のうち、特別区税は、「三位一体改革」に伴う税制改正などにより18億円の増、特別区財政調整交付金は、調整3税が伸びている影響などにより5億円の増、都支出金は、公園用地取得などにより7億円の増となっています。一方、地方譲与税は、「三位一体改革」に伴う国からの税源移譲で所得譲与税が廃止されるため12億円の減、国庫支出金は、市街地再開発事業の影響などにより7億円の減となっています。

（単位：百万円）

区 分	19年度	18年度	増減()額	増減()率
特別区税	14,221	12,408	1,813	14.6%
地方譲与税	348	1,588	1,240	78.1%
うち所得譲与税	0	1,185	1,185	皆減
特別区財政調整交付金	38,161	37,661	500	1.3%
使用料及び手数料	1,432	1,477	45	3.0%
国庫支出金	12,011	12,737	726	5.7%
都支出金	4,296	3,554	742	20.9%
基金繰入金	4,212	5,698	1,486	26.1%
財政調整基金	0	0	0	-
特別区債管理基金	0	0	0	-
諸収入	1,946	1,826	120	6.6%
特別区債	1,162	1,718	556	32.4%
その他	5,031	6,163	1,132	18.4%
計	82,820	84,830	2,010	2.4%

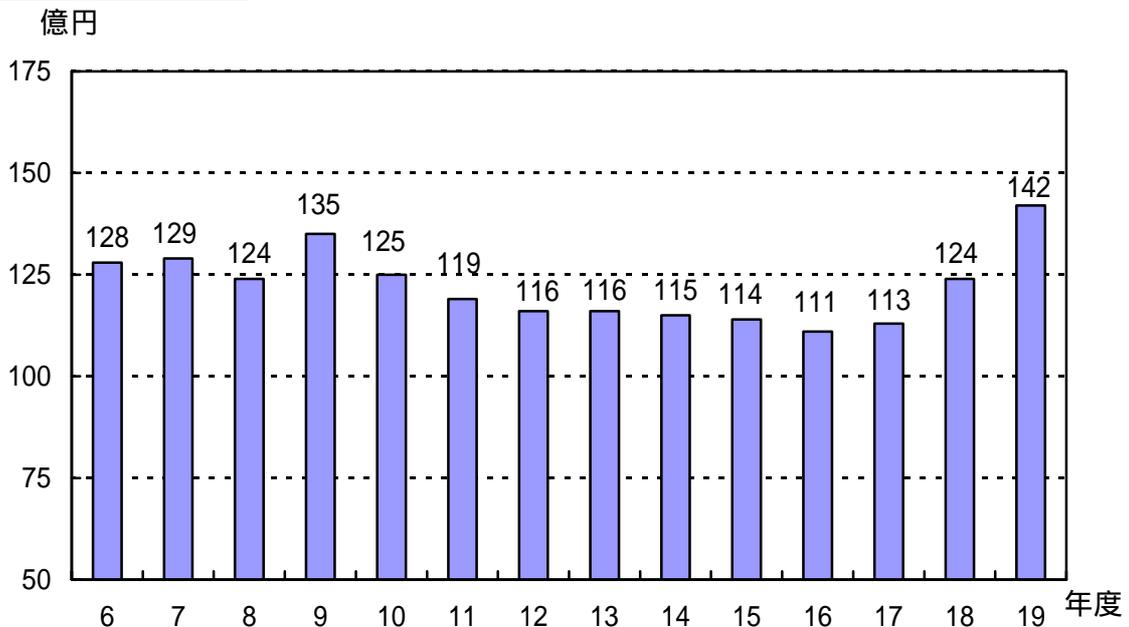
特別な財源対策

歳入の構成割合



注：【 】内は18年度当初予算の構成割合です。

特別区税の推移



注：17年度までは決算額、18、19年度は当初予算額です。

4 歳 出

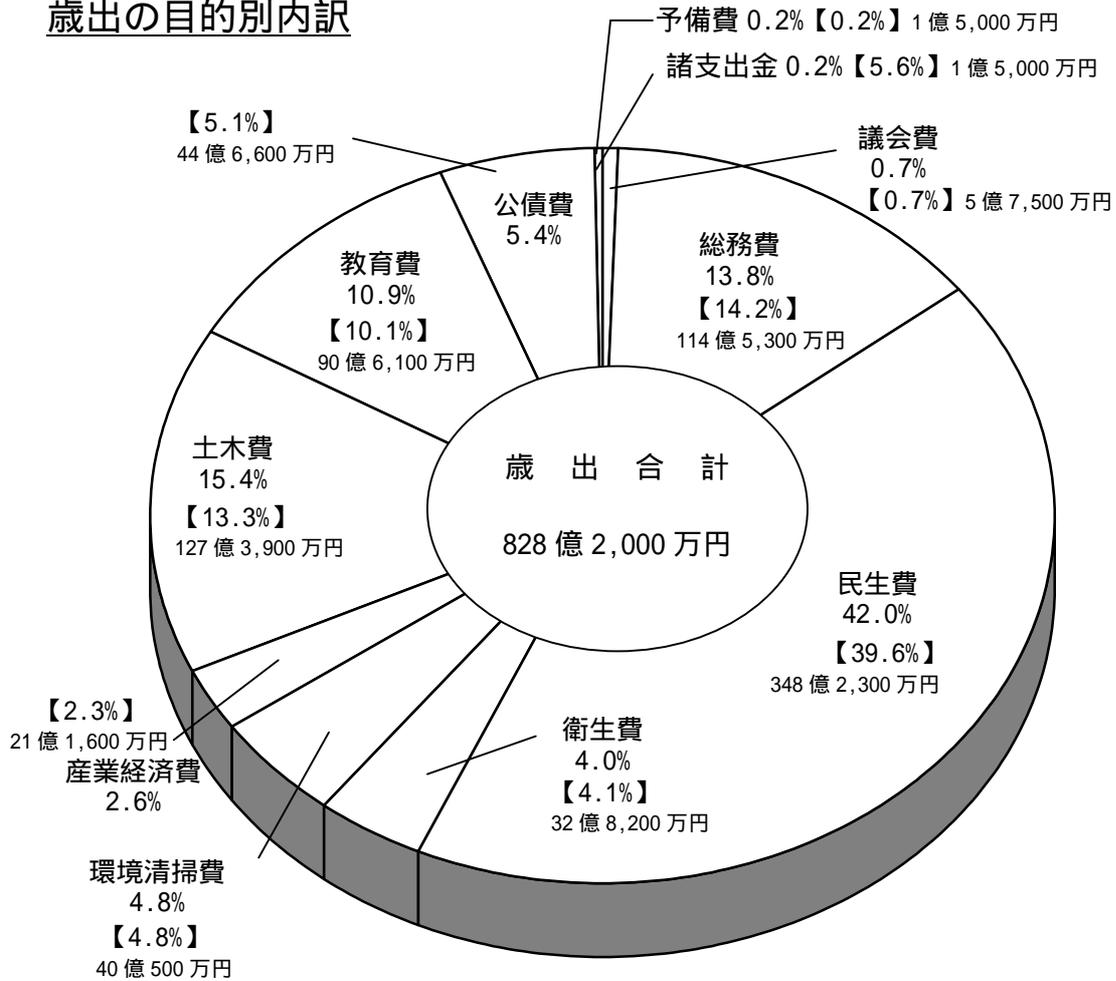
歳出のうち、目的別内訳では、民生費は、子ども医療費助成の充実や保育園の整備などにより12億円の増、産業経済費は、中小企業融資制度の充実などにより1億円の増、土木費は、公園用地の取得などにより15億円の増、教育費は、白鬚西地区教育施設の整備などにより5億円の増となっています。その一方で、総務費は、学童クラブ費の民生費への組替などで6億円の減、衛生費は、がん予防・健康づくりセンターの整備終了などにより2億円の減となっています。

性質別内訳では、義務的経費のうち、人件費は職員定数の削減や給与改定による減がある一方、新規・充実事業への非常勤職員の活用や報酬の改善などの増により、総額では3百万円の減となりました。また、扶助費が子ども医療費助成の充実などで5億円の増となっています。普通建設事業費は、公園用地の取得や日暮里・舎人線整備促進などにより18億円の増となっています。

(単位：百万円)

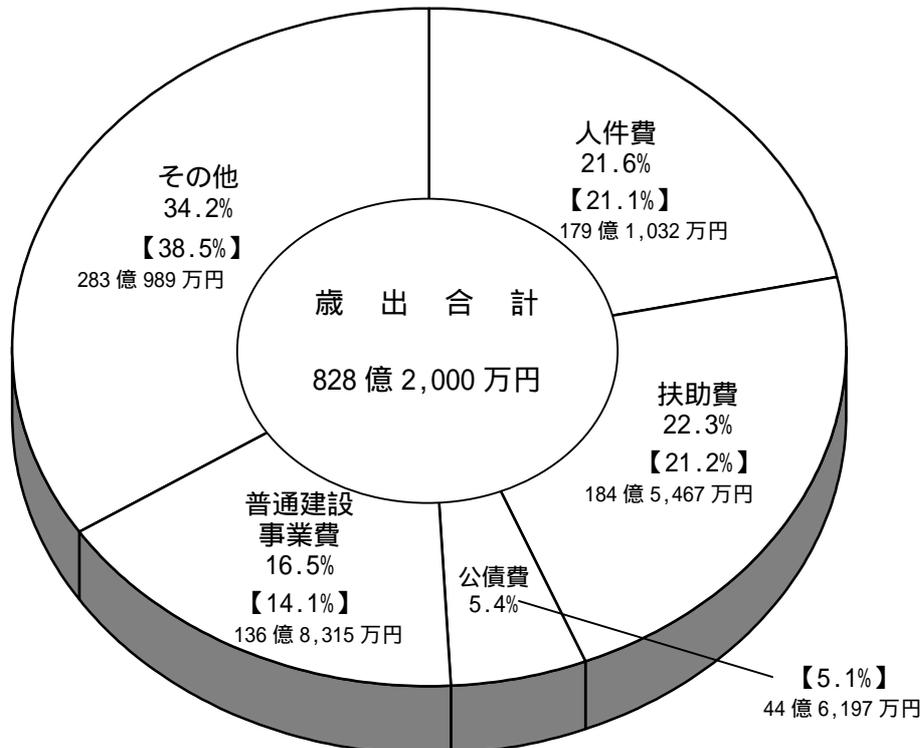
区 分	19年度	18年度	増減()額	増減()率	
目的別内訳	議 会 費	575	556	19	3.4%
	総 務 費	11,453	12,053	600	5.0%
	民 生 費	34,823	33,629	1,194	3.6%
	衛 生 費	3,282	3,479	197	5.7%
	環 境 清 掃 費	4,005	4,070	65	1.6%
	産 業 経 済 費	2,116	1,987	129	6.5%
	土 木 費	12,739	11,268	1,471	13.1%
	教 育 費	9,061	8,566	495	5.8%
	公 債 費	4,466	4,342	124	2.9%
	諸 支 出 金	150	4,730	4,580	96.8%
	予 備 費	150	150	0	0.0%
性質別内訳	義 務 的 経 費	40,827	40,238	589	1.5%
	人 件 費	17,910	17,913	3	0.0%
	扶 助 費	18,455	17,989	466	2.6%
	公 債 費	4,462	4,336	126	2.9%
	普 通 建 設 事 業 費	13,683	11,916	1,767	14.8%
そ の 他	28,310	32,676	4,366	13.4%	
計	82,820	84,830	2,010	2.4%	

歳出の目的別内訳



注：【 】内は18年度当初予算の構成割合です。

歳出の性質別内訳



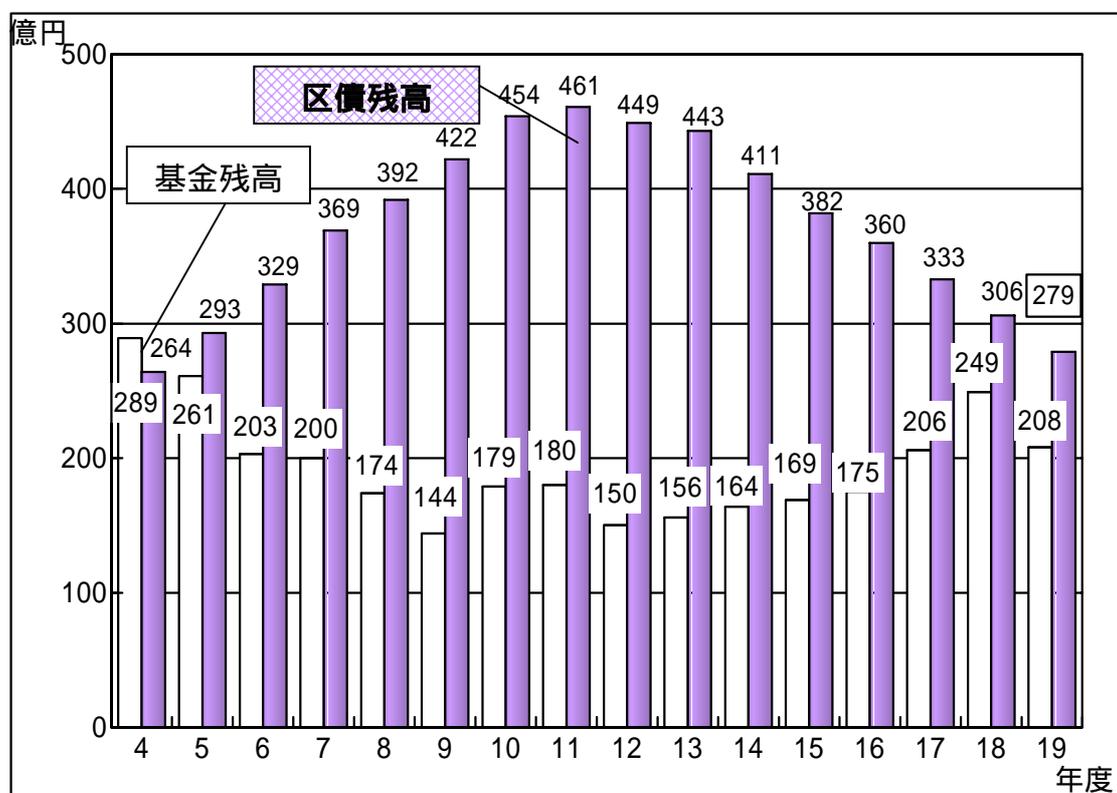
注：【 】内は18年度当初予算の構成割合です。

5 基金残高と区債残高の推移

区税収入の減等による財源不足に対応するため、これまで、基金や特別区債を積極的に財源として活用してきました。

この結果、家計で言えば貯金に当たる基金の残高は、平成2年度をピークに年々減少傾向にありましたが、19年度末現在ではピーク時（2年度304億円）の約7割に当たる208億円にまで改善する見込みです。

また、ローンに当たる区債残高は、11年度をピークに減少傾向に転じ、19年度末現在では279億円まで減少しました。



注：各年度末、17年度までは決算、18年度は最終補正予算後、19年度は予算です。

基金残高	208億2,550万円（19年度末見込）
区民1人当たり	10万8千円
区債残高	279億610万円（19年度末見込）
区民1人当たり	14万5千円（4人世帯58万円）
区債の元利償還費	44億9,687万円（1日あたり1,232万円）

6 財政収支見通し

19年度予算をベースとして、今後の区財政の状況を客観的に把握するため、一定の前提条件を設定し、19年度から22年度までの4か年の財政収支を試算しました。

今後とも引き続き、区財政の健全化を図っていくため、将来の財政負担等を十分に見極めながら、中長期的な視点に立った身の丈に合った計画的な財政運営を行っていきます。

1 計画期間

平成19年度～22年度

2 数値目標（22年度時点）

経常収支比率	75.5%	(17年度	75.9%)
公債費比率	7.5%	(17年度	7.7%)
基金残高	205億円	(18年度末	249億円)
起債残高	250億円	(18年度末	306億円)

3 財政収支の見通し

今後4か年の財政収支（平成19年度～平成22年度）見通し（単位：百万円）

（一般会計）		19年度	20年度	21年度	22年度	合計
歳入	特別区税	14,221	14,313	14,384	14,454	57,372
	特別区交付金	38,161	38,125	38,315	38,507	153,108
	国・都支出金	16,307	17,269	17,400	16,430	67,406
	特別区債	1,162	375	375	375	2,287
	その他歳入	12,969	11,614	11,883	10,655	47,121
	歳入合計	82,820	81,696	82,357	80,421	327,294
歳出	人件費	17,910	18,077	18,401	18,111	72,499
	扶助費	18,455	18,609	18,611	18,614	74,289
	公債費	4,462	4,067	3,604	3,461	15,594
	計画事業費	17,204	16,154	16,952	15,446	65,756
	非計画事業費	24,789	24,789	24,789	24,789	99,156
	歳出合計	82,820	81,696	82,357	80,421	327,294

【試算の前提条件】

財政収支の見通しは、基本計画の計画期間中における財政収支について、現行の税財政制度を前提に、以下のような条件で試算したものです。

区 分		見 積 も り の 考 え 方	
歳 入	特 別 区 税	実施が予定されている税制改正を踏まえ、近年の所得状況及びたばこ売上状況などの要素を考慮	
	特 別 区 交 付 金	現行の制度を継続するものとして、調整三税（固定資産税、特別土地保有税、住民税法人分）の近年の動向を踏まえて試算	
	国・都支出 金	計 画 事 業	計画事業ごとに試算
		非計画事業	19年度予算と同額
	特 別 区 債	19年度予算は事業費ごとに試算、20年度以降は毎年度3億7,500万円として試算	
	その他歳入	計 画 事 業	計画事業ごとに試算
		基金繰入金	19年度から22年度のみ計上
そ の 他		消費譲与税等の交付金や使用料手数料等は19年度予算と同額	
歳 出	人 件 費	19年度予算における性質別経費区分を踏まえたうえ、今後の退職手当などの要素を加えて試算	
	扶 助 費	過去の予算における性質別経費区分を踏まえたうえ、生活保護費、児童手当などの要素を加えて試算	
	公 債 費	既 発 債 分	実償還額
		新 発 債 分	毎年度3億7,500万円発行として償還額を試算
	計 画 事 業 費	基本計画に基づく各年度計画額を積上げるとともに、23年度以降は過去の予算を踏まえて試算	
	非 計 画 事 業 費	19年度予算における非計画事業費と同額	

7 19年度予算の主要な事業

新	の	999,999千円	999,999千円
19年度から新規に実施する事業です		19年度予算額です	
事業名です		18年度予算額です	
事業規模、場所等です		19年度に実施する事業の主な内容です	

1 区制75周年記念事業

区制75周年を記念し、記念式典をはじめとする記念事業を年間を通して開催します。

2 生涯健康都市（16事業）

		19年度予算額	18年度予算額
新	障がい者向け健康体操事業費	1,264千円	0千円

障がい者向けの健康体操の開発・普及を行い、体操を通して障がい者の健康づくりを促進し、健康管理・健康維持のための支援を行います。

新	精神保健福祉対策費	412千円	0千円
---	-----------	-------	-----

うつ病の患者の家族に対し、家族教室を開催し、家族がケアの知識や対応方法を学ぶことにより、自殺予防を図ります。

ひきこもり対策としては、思春期ひきこもり家族教室を行うことにより、早期の段階でのひきこもり対策を図ります。

新	子育てファミリー事業	1,834千円	0千円
---	------------	---------	-----

子育て中の親の孤立化や育児が困難と考える親が増加傾向にあることから、乳幼児の健康・発達の視点だけでなく、子育てをしている親にも焦点をあて、「家族の健康」の増進を図ります。

新	すくすくサポート事業	988千円	0千円
---	------------	-------	-----

新生児訪問等で支援が必要な対象者をスクリーニングし、健全な育児ができるよう支援体制の充実を図ります。

新	あらかわ満点メニュー居酒屋バージョンの開発	18,552千円	7,596千円
---	-----------------------	----------	---------

「あらかわ満点メニュー居酒屋バージョン」を新たに開発し、働き盛り世代が食を通じた健康づくりを進めやすい環境を拡大します。

新	はじめての赤ちゃん訪問事業	5,481千円	2,721千円
---	---------------	---------	---------

育児不安、産後うつ傾向の早期発見と子育て支援の強化を図るため、第一子新生児の全数訪問を実施します。

障がい福祉サービス利用者負担軽減費	22,116千円	16,868千円
-------------------	----------	----------

障害者自立支援法で定められている利用者負担金の軽減策として、国・都制度に加えて区としても軽減策を講じ、障害福祉サービスの利用による家計への負担を軽減します。

障がい者就労支援センター運営費	17,481千円	16,821千円
-----------------	----------	----------

障がい者の就労を維持・促進するため、就労面、生活面の支援を行うコーディネーターを配置します。

ジョブあらかわ

小規模通所授産施設等に対する就労支援促進	6,000千円	6,080千円
----------------------	---------	---------

区内の心身障害者小規模通所授産施設等の訓練施設において、通所者の一般就労に向けての取り組みを行った際に、その費用の一部を補助します。

6施設

障がい児タイムケア事業	6,500千円	3,000千円
-------------	---------	---------

障がいのある中高生等が養護学校等下校後に活動する場を確保し、障がい児を持つ親の就労支援や障がい児を日常的にケアする家族の休息を図ります。

平成19年2月開所

重度身体障がい者グループホームの運営支援	16,104千円	7,332千円
----------------------	----------	---------

重度身体障がい者が地域で生活を営めるように、日常生活に適した居室などを備え、介助員等を配置したグループホームを運営する法人に対して、運営費の一部を補助します。

1か所（定員5名）

コミュニティバス障がい者利用者負担軽減	1,266千円	1,460千円
---------------------	---------	---------

障がい者の交通移動手段の確保を図るため、障がい者手帳所持者について区内を運行するコミュニティバスの運賃を免除します。

介護予防のさらなる推進	18,188千円	19,729千円
-------------	----------	----------

高齢者が要支援・要介護状態となることを防ぐために、転倒予防、筋力向上、会食サービス、認知症予防や低栄養予防、口腔保健等の介護予防プログラムを充実します。

また、「ころばん体操キャラバン隊」を結成し、キャンペーン活動を行うことにより、地域での自主グループの形成、活動についても展開を図るなど、一層の普及・啓発を行います。

地域ぐるみの介護予防の展開	1,271千円	835千円
---------------	---------	-------

区民の自主的・継続的な活動を活性化し、地域ぐるみで介護予防の取り組みを推進するため、区民を対象としたリーダー養成講座及びフォロー講座を実施します。

地域密着型サービス事業所の整備補助	70,000千円	35,000千円
-------------------	----------	----------

介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域での生活を支えるため、地域密着型サービス事業所を整備する事業者に対して、建設費等を補助します。

地域ぐるみの健康づくり推進事業	31,455千円	23,864千円
-----------------	----------	----------

誰もが健康で生き生きと暮らせる生涯健康都市あらかわの実現に向け、区民の早世を予防し、健康寿命をのばすことに取り組みます。

3 子育て教育都市（56事業）

（子育て）

19年度予算額

18年度予算額

新	子ども医療費の助成対象拡大	306,251千円	0千円
---	---------------	-----------	-----

就学前までとなっている医療費助成の対象を中学生までに拡大します。対象となる医療費は、通院・入院を含み、保護者の所得制限はありません。

新	子ども家庭支援センターの先駆型へ移行	4,291千円	0千円
---	--------------------	---------	-----

子ども家庭支援センターに、新たに虐待対応ワーカーを配置するとともに、小・中学生が困ったときに役立つ児童虐待防止啓発カードを配布するなど、児童の虐待予防、早期発見に努めます。

新	育児支援ヘルパーの創設	925千円	0千円
---	-------------	-------	-----

児童の養育が困難な家庭に対し、ヘルパーを派遣し、育児及び日常生活の支援等の必要なサービスを提供することにより、当該家庭における児童の安定した養育と福祉の増進に努めます。

新	子育てハンドブックの作成	3,528千円	0千円
---	--------------	---------	-----

子育てに関する不安感の解消を目的に、さまざまな子育て情報を掲載した、子育てハンドブックを作成し、区内の子育て家庭に配布します。

新	放課後子どもプランモデル事業の実施	17,294千円	0千円
---	-------------------	----------	-----

放課後の子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保するため、平成19年4月から、尾久宮前小学校において放課後子どもプランモデル事業を実施します。

新	地域子育て見守り事業	8,500千円	0千円
---	------------	---------	-----

日頃、区の施策と係わりが少ない0歳～2歳の子どもがいる在宅育児家庭に対し、子育てに役立つキッズクーポン等を民生・児童委員を通して配布し、子育てを支援するとともに、当該家庭と地域との接点を確保し、地域で子育て家庭を見守る環境づくりを行います。

新	子育てフェスタ	1,500千円	0千円
---	---------	---------	-----

就学前の親子や幼稚園、保育園、子育てボランティア等の区内子育て関係団体が一堂に集い、区内の子育て施策・活動の紹介、離乳食づくりの実演、育児相談等のコーナーを開設し、すべての子育て家庭を応援する催しを開催します。

新	在宅親子交流事業	913千円	0千円
---	----------	-------	-----

子育て交流サロンの利用者等在宅育児家庭の親子を対象に、バスハイクを行い、相互の交流を深めるとともに、子育ての楽しさを実感してもらう機会を提供します。

新	親子ふれあい入浴事業	5,665千円	0千円
---	------------	---------	-----

2か月に1回、子育て家庭の親子（対象小学生以下）の公衆浴場入浴料を無料とし、家庭では経験できない、親子のふれあいを深め、家族のきずなを強める事業を実施します。

新	ツインズサポート事業	1,214千円	0千円
<p>多胎児用ベビーカーで都電・都バスが利用できないなど移動の制約を緩和するため、3歳未満の多胎児家庭にタクシー券を支給するとともに、就学前の多胎児家庭に、ファミリーサポートの利用補助を行うなど、多胎児家庭の子育てを支援します。</p>			
新	ソーラー提灯・わがまち安心110番プレート作成	3,528千円	0千円
<p>子ども見守り安全対策の一環として、より目立ちやすく防犯効果が期待できるソーラー電池による防犯灯を各地域に試験的に設置します。</p> <p>また、すでに実績のある「わがまちあんしん110番」プレートを作成し、各地域での安全対策を支援していきます。</p>			
新	私立幼稚園等安全推進事業	2,100千円	0千円
<p>私立幼稚園等が、園児の安全推進のために防犯設備等を新たに設置または充実した場合に、その経費の一部を補助します。</p>			
新	親育て講演会の開催	290千円	0千円
<p>子どもの健全育成に深い見識を持つ講師を招き、子育てについての理解を深めてもらうことを目的に、講演会を開催します。</p>			
新	南千住保育園整備費	27,399千円	0千円
<p>老朽化している南千住保育園を、近隣地に移転・新築することにより、保育園待機児の解消、在宅育児家庭への支援を行うとともに、学童クラブを併設します。</p>			
新	乳幼児一時預かり事業への助成	1,672千円	0千円
<p>ボランティア団体などが中心となって実施している乳幼児一時預かり事業（対象2歳未満）に要する費用の一部を助成することにより、利用しやすい一時保育サービスを提供します。</p>			
新	託児サービス事業への助成	400千円	0千円
<p>民間事業者等が主催し、区が共催または後援する事業において、託児サービスを実施する場合、その経費の一部を補助することにより、子育て家庭の社会参加を促進します。</p>			
新	子育てサポーター制度の創設	738千円	0千円
<p>ファミリーサポートセンター登録会員、保育ママ等を「子育てサポーター」として登録し、行政や民間事業者等から、行事などでの一時的・臨時的な託児所開設の要請があった場合、登録した子育てサポーターに依頼できるような仕組みをつくります。</p>			
新	保育園安全対策の充実	3,768千円	0千円
<p>不審者の侵入防止など保育園の安全性の向上を図るため、区立保育園全園にオートロックを設置します。</p> <p>また、私立保育園が園児の安全推進のため防犯設備等を整備した場合の補助制度を創設します。</p>			

新	上智厚生館保育園分園の設置助成	83,558千円	0千円
---	-----------------	----------	-----

待機児童の解消を図るため、保育需要の多い0～2歳児の定員拡大につながる上智厚生館保育園分園の整備を支援します。

19年度開設予定

新	認証保育所保育料助成	34,704千円	0千円
---	------------	----------	-----

認証保育所を利用している保護者の経済的負担を軽減し、認証保育所の利用を促進するため保育料の一部を補助します。

新	年末保育の実施	1,646千円	0千円
---	---------	---------	-----

年末に保護者の就労等により、保育ができない場合、お子さんを保育園で預かる年末保育を区立保育園で実施します。

新	保育園における蔵書倍増計画	3,830千円	0千円
---	---------------	---------	-----

平成18年4月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画」における乳幼児期からの読書活動を積極的に推進するため、19年度から計画的に保育園の蔵書を充実し、家庭と連携しながら発達段階に応じた読書活動に取り組みます。

新	いきいき体操教室の開催	2,665千円	0千円
---	-------------	---------	-----

幼児期からの体づくり、体力増進を図るため、保育園で専門家から指導を受ける体操教室を開催します。私立・公設民営保育園には専門家の派遣を行った場合の助成制度を設けます。

	私立幼稚園等における預かり保育の拡充	4,320千円	3,910千円
--	--------------------	---------	---------

私立幼稚園等における預かり保育への補助を、区内私立幼稚園等の全園へ拡充します。

6園 7園（区内私立幼稚園全園）

	児童手当制度の拡充	984,800千円	864,415千円
--	-----------	-----------	-----------

平成19年4月から0歳～2歳の第1子・第2子児童手当を5千円引上げ1万円とします。

	子育て交流サロンの拡大	15,427千円	11,110千円
--	-------------	----------	----------

在宅で子育て中の親子が、いつでも気軽に交流や相談ができるよう、子育て交流サロンを東日暮里保育園に設置します。

4か所 5か所（子ども家庭支援センター交流サロンを含む）

	産後家庭支援ボランティア助成	1,125千円	258千円
--	----------------	---------	-------

民間ボランティア団体などが中心となって実施している産後家庭支援ボランティア事業に要する費用の一部を助成し、産後家庭に対する支援を行います。

	ファミリーサポートセンターの充実	8,931千円	8,240千円
--	------------------	---------	---------

子育て家庭が、ファミリーサポート事業を気軽に利用できるよう、会費制を廃止し、利用者の負担を軽減します。

	保育園安全見守り事業の実施	14,522千円	14,522千円
--	---------------	----------	----------

園児のお迎え時の安全を確保するため、すべての認可保育園に園児安全推進員を配置します。

認証保育所の設置促進	277,177千円	283,964千円
------------	-----------	-----------

多様化する保育ニーズに対応するため、駅前に開設する認証保育所に開設準備経費の一部を助成するとともに、すべての認証保育所に対して運営費を補助します。

認証保育所 10 か所 11 か所

延長保育の充実	99,035千円	93,736千円
---------	----------	----------

延長保育実施園において、利用希望者の多い園について定員を増やします。

また、延長保育定員の空き枠を利用して臨時的な利用にも対応できるようスポット利用を開始します。

一時保育実施園の拡大	16,657千円	10,620千円
------------	----------	----------

育児疲れの解消や、行事への参加などで、一時的に保育が必要となった場合、在宅育児家庭が利用できる一時保育を、第二東日暮里保育園で実施します。

専用スペースでの実施園 3 園（南千住、町屋、尾久地域） 4 園

緊急一時保育の充実	3,453千円	3,365千円
-----------	---------	---------

入院等で、緊急かつ一時的に保育が必要となった場合の緊急一時保育について、私立保育園、認証保育所等実施園の時間外保育料の区負担額を増額します。

保育園地域活動事業の充実	2,002千円	1,242千円
--------------	---------	---------

保育園を在園児を含めた地域の子育て支援の拠点とするため、在宅育児家庭への支援、小中学校の体験学習の受け入れ、地域の高齢者等との世代間交流などの取組みをさらに充実します。

私立保育園運営費補助の拡大	46,815千円	45,459千円
---------------	----------	----------

障がい児を 11 時間保育として受け入れた場合、現行の 8 時間保育分に加えて、保育士の加算配置経費を新たに補助します。

家庭福祉員の増員及び研修・安全対策の充実	95,740千円	92,109千円
----------------------	----------	----------

家庭的な保育を行っている家庭福祉員を 2 名増員し、28 名にします。また、家庭福祉員に対し、普通救命講習の受講等の研修や地震等災害時に備えた防災対策を充実します。

保育園給食サービスの充実	78,699千円	37,849千円
--------------	----------	----------

食育の推進、アレルギー対応の強化及び給食内容の充実等保育園における給食サービスの充実を図るとともに、これらを効率的・効果的に実施するため、保育園に非常勤栄養士の配置及び給食調理業務委託園を拡大します。

19 年 4 月実施 原保育園、荒川さつき保育園

保育園リニューアル工事等の実施	134,925千円	55,718千円
-----------------	-----------	----------

築 30 ～ 40 年が経過し老朽化が進行している区立保育園について、計画的に建物の外壁、内壁、床など大規模修繕を実施し、安全で快適な施設にリニューアルします。

また、18 年度に引き続き区立保育園のトイレ改修を実施します。

リニューアル工事：第二南千住保育園

	第三者評価の実施	8,800千円	6,800千円
--	----------	---------	---------

保育サービスを選択する際の目安や保育園の内容を把握することが可能となるように、区立及び公設民営保育園で第三者評価を実施します。あわせて、認証保育所には実施の経費を補助します。

	小中学生と幼児との交流事業の実施	1,269千円	233千円
--	------------------	---------	-------

小中学生が乳幼児とのふれあいを通じて、子育ての楽しさや命の尊さ等を体験する交流事業を実施します。

ひろば館5館

	学童クラブ事業の充実	361,510千円	301,009千円
--	------------	-----------	-----------

小学校1～3年生で、放課後帰宅しても保護者の適切な保護を受けられない児童のため、学童クラブを運営します。学童クラブの需要に対応するため、新たな学童クラブを設置します。

総数23クラブ 24クラブ

(教育)

19年度予算額

18年度予算額

新	「早寝・早起き・朝ご飯」推進事業	3,894千円	0千円
---	------------------	---------	-----

児童・生徒の「生きる力」の基礎となる健康と体力を育むために、子どもたちの生活習慣や食の実態調査を行うとともに、「早寝・早起き・朝ごはん推進会議」の設置や、食育キャンペーンなどの啓発事業に取り組みます。

新	特別支援教育の推進	15,012千円	0千円
---	-----------	----------	-----

通常学級に在籍する障がいのある児童生徒への対応を図るため、当該児童生徒が在籍する学級に「特別支援教育補助員」を配置し、授業における学習活動を補助します。

新	授業力向上プロジェクト	504千円	0千円
---	-------------	-------	-----

学校独自の授業力向上プロジェクトの企画提案を実施し、優れた計画性や効果が期待される内容に対して、専門家による授業観察や指導助言を継続して受けられるようにします。

新	団塊パワー地域活性化支援構想の作成	3,858千円	0千円
---	-------------------	---------	-----

生涯学習の視点から2007年問題に対応し、団塊の世代を中心とした区民が知識や経験を活かし、地域で活躍できるよう学習の場や情報交換の場の提供、仕組みづくりに向けて、懇談会を設置し、地域活性化支援構想を作成します。

新	親子で体力アップ推進事業	1,000千円	0千円
---	--------------	---------	-----

親子で体力の向上と、家庭における望ましい生活習慣の形成を図るため、基礎体力の重要性の啓発や、体力・運動能力向上に役立つ事業を実施します。

新	汐入・図書サービスステーション	25,594千円	0千円
---	-----------------	----------	-----

図書館サービスの充実を図るため、人口の増加が進んでいる南千住汐入地区に図書サービスステーションを設置し、多様化する区民ニーズに対応します。

学校図書館指導員の全校配置	37,844千円	5,402千円
<p>学校図書館機能の充実を図るため、専門的な立場から、学校図書館の運営や読書活動等を推進する学校図書館指導員をすべての小・中学校に配置します。</p>		
不登校ゼロプロジェクト	30,394千円	26,298千円
<p>学校のニーズに応じたきめ細かな教育相談体制を整備するために、臨床心理士による小学校の巡回相談を充実します。</p> <p>また、特別支援教育の充実のために、臨床心理士を活用した校内委員会の活性化や、特別支援教育コーディネーターの資質の向上を図ります。</p>		
ティーチングアシスタントの派遣拡充	3,300千円	1,760千円
<p>教職を目指す大学生を学校に派遣し、学級担任・教科担任とともに児童・生徒の個に応じた指導を一層推進します。</p>		
中学校の「勤労留学」の全校実施	7,114千円	1,434千円
<p>勤労観や職業観を醸成する「職業教育」を体系的に行う一環として、中学生が、実際に企業や商店などで1週間程度働く「勤労留学」を全中学校に拡充し、子どもたちに社会の一員であることを実感させ、社会に役に立つ喜びや、働くことの大切さなどを体験的に学ばせます。</p>		
ハートフル日本語適応指導	3,568千円	2,052千円
<p>来日後の外国人児童・生徒に対する日本語指導を充実し、学校生活や社会生活にスムーズに適応できるよう支援します。</p> <p>また、特に継続指導が必要な児童・生徒を対象とした補充学習教室を設けます。</p>		
小学校英語教育の推進	67,818千円	67,887千円
<p>「英語科」として、全小学校全学年において週1時間、外国人指導員を活用しながら、会話を中心とした英語授業を実施します。</p>		
中学校英語教育の充実・強化	45,400千円	44,353千円
<p>全中学校で英語の授業を週4時間（学習指導要領では週3時間）に拡大し、実践的なコミュニケーション能力を含めた総合的な英語力育成のための授業を実施します。</p>		
白鬚西地区教育施設の整備	1,787,172千円	89,862千円
<p>白鬚西地区における市街地再開発事業の進捗等に伴うファミリー世帯の急増に対応するため、20年度に幼稚園・保育園を一体化した幼保一元化施設を、22年度に新たな小学校を整備します。</p>		
少年運動場の拡充	9,107千円	7,226千円
<p>国土交通省より、隣接する土地（約6,600m²）を無償で借り受け、野球場を1面増やして7面とし、運動場の充実を図ります。</p>		

4 産業革新都市（23事業）

19年度予算額

18年度予算額

新	モノづくりクラスター形成促進事業	19,088千円	0千円
---	------------------	----------	-----

「産学官の顔の見えるネットワーク」構築を軸とした「荒川版クラスター」の形成を目指す「荒川区モノづくりクラスター（MACC：マック）プロジェクト」を推進することにより、「新事業、ベンチャー企業の創出」、「既存企業の第二創業や経営革新」の促進を図ります。

新	商店街ルネッサンス推進事業費	29,420千円	0千円
---	----------------	----------	-----

商店街の空き店舗活用や魅力ある店舗の創出等を支援するとともに、商店街サポーター制度モデル事業を実施し、区民生活の拠点およびコミュニティの中核となる商店街のルネッサンスを推進します。

新	都電沿線4区による観光マップの作成	2,000千円	0千円
---	-------------------	---------	-----

都電荒川線沿線4区が協同して沿線の観光スポットなどを掲載するマップを作成します。

新	都電荒川線PR事業	1,153千円	0千円
---	-----------	---------	-----

荒川区の観光資源である「都電荒川線」を活用し、区外からの観光客を呼び込むために、都電荒川線沿線のウォークラリーを実施します。

	中小企業融資の充実	1,472,709千円	1,258,553千円
--	-----------	-------------	-------------

小規模企業への支援を強化するため、小規模企業特別支援融資を新設するとともに、区内での創業を支援し、区内産業の活性化を図るため、創業支援融資の利用要件を緩和するなど、融資事業の一層の充実を図ります。

	中小企業倒産防止共済加入助成事業	9,000千円	12,000千円
--	------------------	---------	----------

区内企業の連鎖倒産を防止するため、国が実施する「中小企業倒産防止共済制度」に新たに加入する企業の掛金の一部を助成します。

	産業振興施設整備基礎調査	3,000千円	3,300千円
--	--------------	---------	---------

新たな産業振興の拠点となる産業振興施設の整備に向けて、基礎調査を実施します。

	経営革新等支援事業	27,646千円	26,753千円
--	-----------	----------	----------

新製品・新技術の開発や見本市等への出展、ISO認証取得や産業財産権取得に取り組む区内企業に対して経費の一部を助成すること等により、経営革新の取組みを支援します。

19年度は、新たに小規模企業等を対象に、新製品開発や製品改良、販路開拓に向けたマーケティング調査の実施に要する委託経費の一部を助成します。

	あらかわ経営塾運営費	2,964千円	4,342千円
--	------------	---------	---------

区内企業の経営革新の取組みを支援するため、経営者、経営幹部、後継者等を対象に、中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新計画」の策定を通じて、戦略的な経営計画の策定と計画推進のための手法を習得する経営塾を実施します。

中小機構サテライト事業	447千円	462千円
-------------	-------	-------

業務連携を行っている独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催するセミナー及び相談会を、日暮里で「日暮里経営セミナー・経営相談会」として定期的を実施します。

4区合同産業活性化プロジェクト事業	2,500千円	2,500千円
-------------------	---------	---------

近隣の3区（台東区、墨田区、葛飾区）及び東京都との連携により、各区等が保有する産業集積、技術、人材等の地域資源をネットワーク化し、有効活用することによって、新製品・新技術の開発及び販路の拡大を促進し、モノづくり産業の活性化を図ります。

区内製品販売支援事業費	8,627千円	7,731千円
-------------	---------	---------

区内企業の営業力の強化及び販路拡大を図るため、区内の優れた製品や特色ある商品をインターネットを通じて販売する「あらかわショッピングモール」の内容の充実を図ります。

産学官連携研究開発促進事業	9,000千円	20,000千円
---------------	---------	----------

新製品・新技術開発に取り組む区内企業に対して、大学や公的研究機関との共同研究・委託研究に必要な経費の一部を助成します。

商店街活性化総合支援事業費	43,656千円	72,224千円
---------------	----------	----------

商店街及び商店街連合会の販売促進やイベント開催、ハード整備・ソフト対策などの活性化事業を計画段階から実施に至るまで総合的に支援します。

中心市街地活性化事業費	3,000千円	3,000千円
-------------	---------	---------

「株式会社あらかわティー・エム・オー」の活動を支援するとともに、南千住駅周辺地域の商業活性化と市街地の整備を図ります。

日暮里繊維街活性化支援事業費	13,625千円	9,443千円
----------------	----------	---------

「繊維の街・ファッションの街」日暮里の定着を図り、集客力及び賑わいの向上を図るため、日暮里繊維街等が開催するファッションショーを支援します。

また、中国大連市のファッションモデルを招聘して友好交流を促進します。

公衆浴場燃料費緊急助成事業	4,680千円	5,544千円
---------------	---------	---------

原油価格が高止まりし、公衆浴場経営者にとって大きな負担増となっているため、公衆浴場の経営の安定と振興を図り、もって区民の公衆衛生の確保を図ることを目的として、燃料に重油を使用している公衆浴場に対し、19年度も引き続き、重油値上がりによる負担増額の一部を助成します。

雇用促進事業費	7,314千円	9,252千円
---------	---------	---------

区民の雇用促進・区内企業の人材確保を図るため、足立公共職業安定所など関係団体と連携し、「マイタウン就職面接会」を開催するとともに、「JOBコーナー町屋」の機能の拡充を図ります。

観光ボランティアガイド養成講座	352千円	137千円
-----------------	-------	-------

区外からの観光客に、区内の観光スポットや史跡文化財などを案内するための観光ボランティアガイドを養成します。

	荒川ブランドセールスプロモーション事業	9,400千円	29,914千円
--	---------------------	---------	----------

伝統工芸品、荒川マイスター製品などを集客施設などで実演・展示・販売し、荒川区の魅力を発信します。

また、職人の作業所等をギャラリー、工房等に改修するための費用を助成することにより、観光スポットの整備を図ります。

	荒川区観光大使PR事業	759千円	1,379千円
--	-------------	-------	---------

荒川区に縁のある著名人等を観光大使に任命し、荒川区の魅力を多くの人に伝えてもらい、荒川区のイメージアップとPRを図ります。

	観光イベント助成	10,074千円	28,795千円
--	----------	----------	----------

観光イベントを通じてにぎわいと活力のあるまちづくりを図るため、「川の手荒川まつり」や「尾久の原公園シダレザクラ祭り」などの区民が主体となって実施している観光事業を支援します。

	観光振興懇談会運営費	2,142千円	8,357千円
--	------------	---------	---------

荒川区の観光振興を推進するため、荒川区観光振興懇談会の提言に基づき、新たな観光振興施策を構築します。

5 環境先進都市（9事業）

19年度予算額

18年度予算額

新	(仮称)エコセンター建設費	7,000千円	0千円
---	---------------	---------	-----

環境先進都市あらかわを目指して、環境学習やリサイクル施策及び環境ビジネスなどの環境政策を総合的に推進するため、区民等の環境活動の拠点となる(仮称)エコセンターを設置します。

19年度は、建設に向けた基本・実施設計を行います。

新	区制75周年記念荒川・隅田川流域連携事業	9,500千円	0千円
---	----------------------	---------	-----

区制75周年にあたり、荒川・隅田川の流域自治体が連携して、地域のつながりやかけがえのない地球の未来を考える「(仮称)荒川・隅田川流域連携 環境フェスタ2007」を開催します。

新	環境交通政策推進費	5,199千円	0千円
---	-----------	---------	-----

人にも地域にも地球にもやさしい「環境交通のまち・あらかわ」の実現に向けて、交通に関する調査や社会実験などを実施します。

新	(仮称)リサイクルセンター基本構想等策定費	10,000千円	0千円
---	-----------------------	----------	-----

資源の中間処理を実施する施設として、リサイクル活動の拠点となるよう、(仮称)リサイクルセンターの整備に向けて基本構想を策定します。

新	サーマルリサイクルモデル事業費	25,671千円	0千円
---	-----------------	----------	-----

ごみとして排出された廃プラスチックを可燃ごみとして収集し、エネルギーとして熱回収するサーマルリサイクルについて、ポスター・チラシでの周知や住民説明会の開催、一部地域でのモデル収集の実施など、20年度の本格実施に向け、準備事務を行います。

	地球温暖化・ヒートアイランド対策推進事業	7,503千円	4,100千円
--	----------------------	---------	---------

地球温暖化やヒートアイランド対策の推進に向け啓発事業を行うとともに、区民、事業者に対して環境配慮設備の導入促進を図るため、エコ助成制度を拡充します。

19年度は、新たに住宅、事業所の屋上・壁面を緑化する費用の一部を助成します。

	集団回収支援事業	281,162千円	222,689千円
--	----------	-----------	-----------

行政による回収から集団回収への移行を推進するため、町会などが中心となって資源を回収できる体制を整えます。

また、集団回収モデル事業を実施する団体に対して、規模に応じたモデル回収支援金の支給など、支援策を継続し、実施団体(町会)を拡大するとともに、新たな回収品目のペットボトル・白色トレイの回収を区内全域に拡大し、資源回収量の増大を図ります。

	環境に配慮した道路の整備	28,367千円	12,002千円
--	--------------	----------	----------

都市部で顕著なヒートアイランド現象への対策として、道路舗装の蓄熱を防止するとともに路面温度の低減を図るため、遮熱性舗装を実施します。

	学校エコ改修	400,000千円	39,742千円
--	--------	-----------	----------

第七峡田小学校をエコ改修し、外部環境の改善や省エネ対策を講じて、建物性能の向上を図り、快適な学習環境を確保します。

6 文化創造都市（7事業）

19年度予算額

18年度予算額

新	区制75周年記念ふるさと郷土芸能の祭典	3,543千円	0千円
---	---------------------	---------	-----

区制75周年記念事業として、交流都市の無形文化財が一堂に会した「ふるさと郷土芸能の祭典」を実施し、区民の伝統芸能に対する理解を深めるとともに都市間交流事業の充実を図ります。

新	区制75周年記念国際交流高校生サミット	25,100千円	0千円
---	---------------------	----------	-----

荒川区及び国内・海外交流都市の高校生が集まり、テーマについて話し合う国際交流高校生サミットを開催し、各都市との青少年の交流を深めます。

新	地域コミュニティ活性化の支援	1,867千円	0千円
---	----------------	---------	-----

心豊かで活力に満ちた地域コミュニティの形成を図るため、町会や自治会などの活動を積極的にPRするとともに、新たに区民となる人が町会等の活動に円滑に参加できるよう支援します。

新	千住大橋鉄橋架橋80周年記念事業	1,253千円	0千円
---	------------------	---------	-----

19年度は、荒川区指定史跡（18年度指定）である千住大橋が鉄橋架橋80周年にあたるため、記念イベント（バスツアー「奥の細道」・史跡めぐり等）を実施します。

新	（仮称）吉村昭記念文学館の設置	12,884千円	0千円
---	-----------------	----------	-----

荒川区区民栄誉賞のほか、数々の文学賞を受賞し、荒川区の名を高めた文学者である吉村昭氏の足跡を記した資料を収集・保存・展示する文学館を設置します。

文学館設置に向けての基本構想委員会を設置
吉村昭氏を記念する講演会を開催

新	橋本左内墓套堂復元整備事業	5,733千円	0千円
---	---------------	---------	-----

幕末の志士橋本左内墓套堂を地域の歴史を伝承する文化財として復元し、地域のシンボルとして活用を図るため、周辺整備等を実施します。

	新たなコミュニティ施設の整備	584,481千円	369,958千円
--	----------------	-----------	-----------

区民の多様なニーズに応えた地域コミュニティの拠点となるよう、「ふれあい館」を整備します。

（仮称）西日暮里ふれあい館（建設）	20年度開設予定
（仮称）町屋ふれあい館（改修）	21年度開設予定
（仮称）尾久ふれあい館（改修）	21年度開設予定
（仮称）南千住七丁目ふれあい館（建設）	22年度開設予定
（仮称）荒川三丁目ふれあい館（建設）	22年度開設予定

7 安全安心都市（13事業）

		19年度予算額	18年度予算額
新	荒川区安全・安心ステーションの開設	4,331千円	0千円
警視庁が廃止する交番3か所を、荒川区が安全・安心ステーションとして再利用し、警視庁から勤務員の派遣を受けて、区内の新たな防犯活動拠点として活用します。			
新	都市計画マスタープラン策定事業	10,000千円	0千円
基本構想に基づく総合的な都市整備の指針として、区民の意見を反映させた都市計画マスタープランを、19、20年度の2か年で策定します。			
新	住宅マスタープラン策定事業	5,616千円	0千円
区民が安心して住み続けられる住宅と良好な住環境の形成を推進するため、基本構想や都市計画マスタープランとの整合性を図りながら、第三次住宅マスタープランを19、20年度の2か年で策定します。			
新	延焼遮断帯形成事業	37,200千円	0千円
大地震発生時に、市街地火災の延焼を防止するため、密集住宅市街地整備促進事業に延焼遮断帯形成事業を導入し、6メートル以上の道路空間を確保する戸建て等の建替にも建設費の一部を助成します。			
新	花とみどりの基本計画の策定	7,997千円	0千円
公園緑地の整備や緑化の推進に関するマスタープランである「みどりの基本計画」を19、20年度の2か年で策定します。			
	防災訓練の実施	12,863千円	12,200千円
総合震災訓練や災害対策本部運営訓練を実施するとともに、防災区民組織を対象とした図上訓練、特別非常参集職員の参集訓練を充実させ、区の防災力向上を図ります。			
	住宅用火災警報器の整備	85,785千円	57,600千円
火災予防への区民の意識高揚を図るとともに、平時に限らず震災時を含めた火災の発生を早期に発見し、区民の安全な生活を確保するため、区内の各家庭に住宅用火災警報器を配布します。			
	安全・安心パトロールカーの巡回強化	33,145千円	34,562千円
区の安全・安心パトロールカーを3台巡回させ、犯罪の未然防止と子どもの安全確保を図ります。			
	学校・学童クラブ安全パトロールの実施	76,358千円	94,571千円
下校時の児童の安全を確保するため、すべての小学校及び学童クラブで「学校・学童クラブ安全パトロール」を実施します。			
	都電沿線バラ植栽事業費	10,557千円	10,015千円
都電の沿線に植栽されているバラを区民が主体となって維持管理をします。			

	西日暮里三丁目まちづくりの推進	4,800千円	4,801千円
--	-----------------	---------	---------

西日暮里三丁目地域内に計画されている未整備の都市計画道路が東京都の「整備見直し候補区間」に選定されたことを契機に、同地域のまちづくり計画を住民主体で作成していきます。

	都市防災不燃化促進事業	54,779千円	57,509千円
--	-------------	----------	----------

放射12号線(補助107号線)、補助90号線、補助90号線第二地区において耐火建築物を建築する費用の一部を助成します。

	密集住宅市街地整備促進事業	137,336千円	95,170千円
--	---------------	-----------	----------

荒川五・六丁目、町屋二・三・四丁目、南千住一・荒川一丁目、荒川二・四・七丁目地区において防災広場等を整備するとともに、主要生活道路の拡幅・整備を行います。

また、現在行っている防災生活圈促進事業を、本事業に移行するための調査を行います。

8 計画推進のために（3事業）

		19年度予算額	18年度予算額
新	区制75周年記念式典	20,000千円	0千円

区制75周年の節目を迎えるに当たり、記念式典を開催するほか、記念シンポジウムの開催、区のシンボルマークの制作、記念モニュメントの設置などの記念事業を行います。

新	荒川区職員ビジネスカレッジ	10,491千円	2,985千円
---	---------------	----------	---------

職員の職務意識と能力の向上を図り、区政の中核を担う職員の育成を目的として、職員がこれからの自治体経営に必要な専門知識を習得し、より広範な視野で社会情勢を把握できるよう、荒川区職員ビジネスカレッジを設置しています。

19年度は公的な組織として位置づけ、内容をさらに充実させます。

	団塊の世代への支援	17,291千円	2,043千円
--	-----------	----------	---------

荒川区シルバー人材センターや荒川ボランティアセンターへの支援を通じて、大量退職が見込まれる団塊の世代の退職後の就労や地域活動をサポートします。

8 最終補正予算案の概要

平成18年度の最終補正予算は、まちづくりの推進などの経費や基金への積立金として、一般会計で22億円の補正を行います。

また、特別会計では、国民健康保険事業特別会計と介護保険事業特別会計で事業費の補正を行います。

補正規模及び財源

(単位：百万円)

区 分	既定予算額	補正額	補正後予算額
一 般 会 計	84,830	2,208	87,038
国民健康保険事業特別会計	23,897	18	23,915
介護保険事業特別会計	10,981	171	11,152

【一般会計財源内訳】国庫支出金 241 百万円、都支出金 887 百万円、繰入金 476 百万円、繰越金 4,494 百万円、特別区債 858 百万円、その他 2,080 百万円

補正事項（一般会計）

- (1) **まちづくりの推進** 594,209 千円
 都市計画道路用地の取得 181,296 千円
 早期完成を目指し、補助 306 号線、補助 321 号線の用地を取得します。
 密集住宅市街地整備促進事業用地の取得 412,913 千円
 密集住宅市街地整備促進事業の推進区域において、広場等の用地を取得します。
- (2) **清掃一部事務組合分担金の支出** 5,200 千円
 東京 2 3 区清掃一部事務組合による新会社設立に伴い、組合への分担金支出に要する経費を補正します。
- (3) **損害賠償金の支払** 60,300 千円
 学校管理下において発生した児童の事故について、関係者との和解により損害賠償額が確定したため、支払に必要な経費を補正します。
- (4) **基金積立金** 3,234,041 千円
 17 年度決算の確定に伴い、決算剰余金の一部を基金に積み立てるとともに、基金の運用利子及び特別区小中学校改築事業特別交付金を基金に積み立てます。

(5) その他	1,685,546 千円
南千住駅前西地区区民施設建設費の減額	286,147 千円
<p>(仮称)南千住区民事務所及び(仮称)南千住七丁目ふれあい館の整備費について、権利変換等のスケジュールの変更により、所要経費を減額補正します。</p>	
市街地再開発事業経費の減額	111,400 千円
<p>ひぐらしの里西地区及び北地区について、工事の遅れにより、再開発組合へ支出する事業費補助金の一部について減額補正します。</p>	
白鬚西地区小学校建設関係経費の減額	1,248,000 千円
<p>白鬚西地区小学校の校舎配置計画の変更に伴い、18年度に予定していた用地取得費を減額補正します。</p>	
介護保険事業特別会計繰出金の減額	39,999 千円
<p>介護保険事業特別会計における財源更正により、一般会計からの繰出金を減額補正します。</p>	

